

福井県開放特許集 一覧表

(1) 福井県 (福井県工業技術センター) 提供技術一覧表 (1 / 1)

技術分野		技術名称	技術概要	資料番号	頁
電気・電子	平面アンテナ	平面アンテナ	堅牢・簡単な構造で大量生産に富んだ、従来の平面アンテナよりも効率の良い平面アンテナを提供する。	A - 0 4 0 1	1 0
	複合材料の製造	長繊維強化熱可塑性樹脂複合材料の製造方法	開繊した繊維束に熱可塑性樹脂を含浸させるので樹脂が十分行き渡り、均一になり、力学的に優れ、外観も良く、作業性の良い長繊維強化熱可塑性樹脂複合材料製造法を提供する。	A - 0 4 0 2	1 1
繊維・紙	複合材料用糸加工	複合材料用混繊糸の製造方法	連続強化繊維束と連続熱可塑性樹脂繊維束とが均一に混繊された複合材料用混繊糸およびその製造法を提供する。	A - 0 4 0 3	1 2
	繊維束拡繊加工装置	拡繊装置	繊維束を厚み 0 . 2 mm ~ 0 . 0 4 mm、幅 3 0 mm に拡繊することができる装置を提供する。	A - 0 4 0 4	1 3
	繊維束拡繊装置	拡繊システム	繊維束が超音波を伝播する予備液層に入りさらに本液層にてオーバフィード制御しながら流送供給し、流送されてくる予備拡繊済み繊維束に流体流を当てて、解き分けることができる流体流式拡繊装置を提供する。	A - 0 4 0 5	1 4
	機能性繊維製造装置	グラフト化基材製造装置	繊維、紙やフィルムなどシート状基材または繊維状基材に電子線を照射して活性種を育成すると同時に重合反応を起こさせ、親水性、撥水性、吸放湿性、抗菌性、静電防止性、接着性など耐久性ある機能を効率よく均一に行うことができる製造装置を提供する。	A - 0 4 0 6	1 5
	機能性繊維製造装置	グラフト化基材の製造方法およびその装置	高分子材料からなる基材に電子線を照射した後、ラジカル重合性化合物溶液を付与した基材を 2 枚のフィルム間に密着した状態で電子線をさらに照射し、ある温度である時間滞留させるとグラフト層の厚みがますことを特徴とし、親水性、撥水性、吸放湿性、抗菌性、静電防止性、接着性など耐久性ある機能を効率よく均一に行うことができる製造法および製造装置を提供する。	A - 0 4 0 7	1 6
	無機材料	材料製造方法	酸化チタンを担持した多孔性炭素材料の製造方法	チタンアルコキッド溶液中に有機カルボン酸のアルカリ土類金属塩を分散させた状態でゲル化させ、それを炭化し炭化物中に存在するアルカリ土類金属化合物を酸で溶かした上で、多孔性を付与することを特徴とした酸化チタンを担持した多孔性炭素材料の製造法を提供する。	A - 0 4 0 8

(2) セーレン株式会社 提供技術一覧表 (1/1)

技術分野	技術名称	技術概要	資料番号	頁	
繊維・紙	コーティング	ポリエステル系コーティング加工布の製造方法	染料移行性のないポリエステル系コーティング加工布の製造方法を提供する。	B - 04 01	18
化学・薬品	家具化粧板	家具用化粧板およびその製造方法	原版の表面に所望の布を貼着して装飾を施す化粧板において、化粧板の側面にまで布を貼着したものであっても布のほつれがなく、長期に使用しても布の色調が損なわれることがない家具用化粧板を提供する。	B - 04 02	19
	フォーム複合体	フォーム複合体の製造法	椅子、ソファ等家具類および車両におけるシートや内装類に使用するに適するクッション性及び剥離強度の改善されたフォーム複合体の製造法。	B - 04 03	20
バイオ	酵素電極	酵素機能電極	フレキシビリティを持ち、表面積が大きく、軽く、カットが容易で、応用範囲の広いバイオセンサー、バイオリクター用酵素機能電極。	B - 04 04	21
	酵素電極	酵素機能電極の製造方法	フレキシビリティを持ち、表面積が大きく、軽く、カットが容易で、応用範囲の広いバイオセンサー、バイオリクター用に有用な酵素電極の製造方法。	B - 04 05	22

(3) 前田工織株式会社 提供技術一覧表 (1/2)

技術分野	技術名称	技術概要	資料番号	頁	
土木・建設	遮水部材	袋体を用いた遮水部材およびその止水方法	地下等への流入水を阻止するため入り口部を塞ぐ遮水部材を装備し、入り口部に埋設された袋体は膨張(袋体に空気を注入したり膨潤材活用して)して起立し、壁部に圧接され、入り口部を塞ぐことを特徴とした遮水部材を提供する。	C - 04 01	23
	シート締結法	土木用埋設シートのラップジョイント機構	2枚のシートの穴の開いた部分を重ね合わせ1本の線材を穴のピッチにあわせ略円孔状に連続して作ったものをシート穴に通して鋼線(合成樹脂製でも良い)をこれに通してジョイントすることを特徴としていて、張力が分散し集中することなく締結できる。	C - 04 02	24

(3) 前田工織株式会社 提供技術一覧表 (2 / 2)

技術分野	技術名称	技術概要	資料番号	頁
土木 ・ 建設	橋脚補修装置	橋脚補修装置 走行桁に作業床を吊り下げこれに昇降台を昇降させる装置を設置し、補修の高さなどが変わっても昇降機を上下させることで補修が容易に行え、橋桁の大きさや高さに応じて調整可能としたことを特徴とした橋脚補修装置を提供する。	C - 0 4 0 3	2 5
	多目的パネル	多目的パネルおよび多目的パネルを用いた河川護岸工法 多目的パネルは平面上に結合させると大型パネルになり、立方体に結合させると箱形になり、立方体、4角錐など状況に応じて組み立てが自由にできることを特徴とし、環境保全基材など所定面に配した護岸法や防風、防雪、落石など多方面で使用可能である。	C - 0 4 0 4	2 6
	張力付与装置	張力付与装置および張力付与する方法 法面保護材を法面内側に引っ張る網目状シートに張力を付与する装置で集中荷重をかけることなく十分張力を与える為の装置と方法を提供する。運搬や収納時の取り扱いに優れ一部の部品を変えるだけで各種の張力体に張力を付与できることを特徴としている。	C - 0 4 0 5	2 7
	河川構造物	人工河川構造物および多自然型河川工法 メッシュ構造もしくは網構造の収容管内に中詰め材を詰めた籠を河床に敷設し、人工河川構造物を築く。土砂や砂礫が捕集でき植生基盤材に植物を植生できることを特徴とした人工河川構造物・多自然型河川工法を提供する。	C - 0 4 0 6	2 8
	ふとん籠	ふとん籠 樹脂製ネットで箱形を形成し、内部に栗石などの石材を充填する籠を具えたふとん籠で、少なくとも1面に不織布性フィルタシート装備し、土砂などの侵入を防ぐ効果を持たせたふとん籠を提供する。	C - 0 4 0 7	2 9
	フェンス等取り付け具	張設体用挟み持部材および張設体の設置方法 凹陷部を有する凹状部材(熱可塑性樹脂・熱硬化性樹脂や繊維強化熱可塑性樹脂) 挿入部材(凹部に挿入できる形状) これを結合する結合部材(ボルト・ナットなど)を有し、容易に各張設体を均一な張力で調節できる張設体用挟持部材およびこれを施工する設置方法を提供する。	C - 0 4 0 8	3 0

(4) 来田農産株式会社・武田美津子 提供技術一覧表 (1/1)

技術分野	技術名称	技術概要	資料番号	頁
機械・加工	農耕用装置	多用途農作業機およびそれに用いる回転方向変換装置	D - 04 01	31
	農業機械装置	砕土機	D - 04 02	32

(5) 北川信博 提供技術一覧表 (1/1)

技術分野	技術名称	技術概要	資料番号	頁
日用品	洗濯かごのつかみ装置	手さげ洗濯かご等つかみ装置および該装置に用いるつかみ手	E - 04 01	33

(6) 朝日昭雄 提供技術一覧表 (1/1)

技術分野	技術名称	技術概要	資料番号	頁
食品	食廃油のリサイクル	食用油の処理方法と養土	F - 04 01	34

(7) 宮崎芳郎、宮崎周子 提供技術一覧表 (1/1)

技術分野	技術名称	技術概要	資料番号	頁
機械・加工	自励振動ヒートパイプ	自励振動ヒートパイプ	G - 04 01	35

(8) 高橋活生 提供技術一覧表 (1 / 1)

技術分野		技術名称	技術概要	資料番号	頁
日用品	レンズ	携帯電話のディスプレイ拡大レンズ	透明度の高いフレネルレンズを使用することにより歪みが少なく、拡大倍率も向上したレンズを提供する。また、携帯電話に取り付けが容易で調整がきく取り付け具を提供する。	H - 0 4 0 1	3 6

(9) 田中治雄 提供技術一覧表 (1 / 1)

技術分野		技術名称	技術概要	資料番号	頁
機械・加工	自動車	動揺均衡補助装置付き懸架系を持つ自動車	モータ・サイクルのように操縦者が車体横動揺の均衡制御をする自動車であっても自動車が自律的に補助作動し、走行面や走行中に発生する慣性力に起因する車体横方向の荷重移動や乗り心地の弊害となる車体横動揺、横傾斜のない自律制御する自動車を提供する。	I - 0 4 0 1	3 7

(1 0) 黒田博信 提供技術一覧表 (1 / 1)

技術分野		技術名称	技術概要	資料番号	頁
機械・加工	締結部品	悪戯防止締結構造	悪戯等によって緩められたり、取り外しができず、しかも、点検持等の必要なときは確実に増し締めができることを特徴としたナット、ボルト、ワッシャ等の悪戯防止部品とその締結構造を提供する。	J - 0 4 0 1	3 8
土木・建設	鉄骨柱梁の接合法	鉄骨柱梁の接合法	テーパ部を設けた鉄骨柱と鉄骨梁に接合される少なくとも1面にはブラケットのある筒形鋼材を設ける。これを鉄骨柱に挿入し隙間のないように楔止めをし、所要位置でボックスコアと組み合わせボルトにより締結すれば強固な接合ができ、鋼管の中にコンクリートや合成ゴムなどを入れれば、さらに、強度が増し、遮音・振動減衰効果を持たせることができる。	K - 0 4 0 1	3 9